

[2023 年度]

繊維製品品質管理士試験

〔Ⅲ〕 家庭用繊維製品の流通、消費と
消費者問題に関する知識

◆注意◆

1. 問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2. 開始とともに、解答用紙に氏名と、受験番号(4ケタ)、その下の受験番号の数字をマークしてください。
3. 解答用紙は、書き損じても再交付しません。
4. 印刷が不鮮明な場合は申し出てください。ただし、問題に関する質問は一切受け付けません。
5. 解答を書き終えても、また、試験放棄しても試験が終わるまで退室できません。
トイレに行きたくなくなった場合、あるいは気分が悪くなった場合は、手をあげて監督者に申し出て
ください。
6. 試験終了後は、指示があるまで着席のまま待機してください。
7. 試験中、顔写真と照合のため監督者が回ってきたときには、マスクは外して顔をあげてください。
8. 試験会場内は禁煙です。

問1 次のA～Iの記述の下線部が、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが正しい場合には『2』、①②の両方が間違っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①インターネットによる応募型調査は、標本抽出法の観点からは精度の高い調査法とはいえない。
②インターネットによる応募型調査は、回答者が特定の層に偏りやすいという短所がある。
- B. ①質問紙面接調査法は、調査員によって調査結果に差が出ないことが長所である。
②質問紙面接調査法は、調査票の回収率が高く調査費用が安いことが長所である。
- C. ①標本抽出法の1つである多段抽出法は、抽出段階が増えるほど標本誤差は大きくなる。
②標本抽出法の1つである多段抽出法は、段階ごとに標本誤差が生じて精度が落ちるため、消費者調査では使われない抽出法である。
- D. ①多くの回答選択肢の中から、所定の数を選ぶ場合を制限選択という。
②評定尺度法で、対をなす概念の強度が対称的に大きくなるように構成されている尺度を両極尺度という。
- E. ①消費者行動の要因のうち、「心理的要因」は個人の脳内において処理される。
②消費者行動の要因のうち、他人や集団から受ける影響を「社会的要因」という。
- F. ①マズローの欲求の階層理論において「生理的欲求」は「高次の欲求」である。
②マズローの欲求の階層理論において「自己実現欲求」は「低次の欲求」である。
- G. ①流行のシーズンに先駆けて購入し、周囲の人々に影響を与える人を「フォロアー」という。
②流行のシーズンの終わりに近い時期に購入する人を「ラグード」という。
- H. ①コーブランドの商品分類のうち、何軒もの店を見て回る商品を「最寄り品」という。
②コーブランドの商品分類のうち店員の専門技術を頼りにして買う商品を「専門品」という。
- I. ①ライフスタイル分析の一つであるAIO分析の「A」は「活動」の意味である。
②ライフスタイル分析の一つであるAIO分析の「O」は「意見」の意味である。

問2 次のI～Xの記述の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 一般的に回収率は低いが、電話調査法と同様に広範囲な調査ができる調査法は（ A ）である。
（1. 託送調査法 2. 質問紙面接調査法 3. 郵送調査法）
- II. 消費者調査の標本抽出法のうち、（ B ）は有意抽出法である。
（1. 等間隔抽出法 2. 割り当て抽出法 3. 確率比例抽出法）
- III. 調査結果を集計する前に、調査票の点検をすることを（ C ）という。
（1. ワーディング 2. コーディング 3. エディティング）
- IV. フェースシートのデモグラフィック要因の質問項目は（ D ）調査といえる。
（1. 知識 2. 意見 3. 属性）
- V. 国勢調査などの全数調査では（ E ）がないが、多大な労力、費用、時間がかかる。
（1. 標本誤差 2. 標準誤差 3. 系統誤差）
- VI. 生活水準を定める「個人要因」のうち、「月々の消費支出」は（ F ）という。
（1. ストック 2. 資産 3. フロー）
- VII. スタンフォード調査研究所は、VALS 尺度を用いてアメリカの消費者のライフスタイルを（ G ）分類した。
（1. 4 2. 8 3. 12）
- VIII. 早いー遅い、明るいー暗いなどの対立する形容詞の対を5段階あるいは7段階の尺度にして、感覚的なイメージを判定する方法を（ H ）という。
（1. SD法 2. 数値分配法 3. 多極尺度法）
- IX. 属する多くの集団の中で、最も影響を受ける集団を（ I ）という。
（1. 準拠集団 2. 消費集団 3. 関与集団）
- X. 「記憶」のうち「注意を引いたごく一部の情報」は（ J ）に送られる。
（1. 感覚記憶 2. 短期記憶 3. 長期記憶）

問3 次のⅠ～Ⅱの記述の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

Ⅰ. 調査結果の分析において、調査結果のばらつきを分析する（ A ）、中心的傾向を把握する平均値や（ B ）、二つの調査データ間の関係を表す（ C ）がある。

[語群]

1. 標準偏差
2. 二項検定
3. 中央値
4. 変動係数
5. 因子分析
6. 相関係数

Ⅱ. 価格によって購入量が増える品目を（ D ）とよび、価格に関係なく一定量が必要な品目は（ E ）とよぶ。なお、経済原則とは反対の動きをする品目は（ F ）とよぶ。

[語群]

1. 特殊財
2. 変化財
3. 必需財
4. 必須財
5. 選択財
6. 特別財

問4 次のA～Gの記述にあてはまる最も適当なものを語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

A. 裁判外紛争処理のことで、具体的な手段としては、仲裁や調停、あっせん、相談などがあげられる。

B. 自らが所掌する消費者関連法令を執行すること、消費者事故等の情報を一元的に集約し、調査・分析を行うなど、消費者行政の司令塔的役割を担っている。

C. 2009年9月1日に発足した、消費者行政全般に対して監視機能を有する、独立した第三者機関

D. 国及び地方公共団体の関係機関、消費者団体等と連携し、事業者と消費者との間に生じた苦情のあっせん及び当該苦情に係る相談などを実施する中核的な機関

E. 行政による直接規制のなかで、一般消費者が安全性・危険性を判断できないもの、被害が生じた場合に深刻な結果を生じるものに対して行われる規制

F. 事業者の公正かつ自由な競争の確保を目的とし、「私的独占」、「不当な取引制限」および「不公正な取引方法」を禁止した法律

G. 消費者に選択のための適切な商品情報を伝えることを目的として、国民生活センターや各地の消費生活センター等により行われてきたテスト

[語群]

- | | | |
|-------------|---------------|--------------|
| 1. 商品規制 | 2. 消費者委員会 | 3. 消費生活センター |
| 4. 独占禁止法 | 5. 法令適合性判断テスト | 6. 国民生活センター |
| 7. ADR | 8. 価格規制 | 9. 業者規制 |
| 10. 消費者庁 | 11. 景品表示法 | 12. 商品の比較テスト |
| 13. 適格消費者団体 | 14. CSR | |

問5 次のⅠ～Ⅳの記述の()内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

Ⅰ. 2015年の(A)において、「持続可能な開発のためのアジェンダ」に記載されたSDGs(持続可能な開発目標)は、(B)年をめどに(C)のゴールと169のターゲットを定めている。

[語群]

- | | | | |
|--------------|---------|-----------|---------|
| 1. 地球温暖化防止会議 | 2. パリ協定 | 3. 国連サミット | 4. 2030 |
| 5. 2040 | 6. 25 | 7. 17 | |

Ⅱ. 繊維製品にかかわる法律のうち、表示規則や表示ルールに従って適切に表示しなければならない法律に(D)、資源有効利用促進法がある。不当な表示や行き過ぎの表示を規制する法に(E)などがある。

[語群]

- | | | | |
|-----------|--------------|----------|-----------|
| 1. 製造物責任法 | 2. 家庭用品品質表示法 | 3. 景品表示法 | 4. 消費者安全法 |
|-----------|--------------|----------|-----------|

Ⅲ. JIS L 0001(繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法)には、従来のJIS L 0217にない記号がある。漂白では(F)処理ができる記号、乾燥では(G)に関する記号が追加された。商業クリーニングの記号では、従来のドライクリーニングの他に(H)が追加された。

[語群]

- | | | | |
|-----------|----------------|----------|-----------|
| 1. 酸素系漂白 | 2. ランドリークリーニング | 3. 塩素系漂白 | 4. タンブル乾燥 |
| 5. ボックス乾燥 | 6. ウエットクリーニング | | |

Ⅳ. 1970年代には商取引の多様化やクレジット販売の一般化により悪質商法が多発したために(I)などの法制度の整備が行われた。1980年代以降、急速な経済のグローバル化による規制緩和のなかで商品の(J)を確保するために製造物責任法が制定され、2000年には取引面のルールとして消費者と事業者との間の情報の質および量ならびに交渉力に差があることを明示した(K)が制定された。

[語群]

- | | | | |
|----------------|-----------|----------|---------|
| 1. 消費者契約法 | 2. 均質性 | 3. マルチ商法 | 4. 旅行業法 |
| 5. 訪問販売等に関する法律 | 6. 事業者契約法 | 7. 在庫 | 8. 安全性 |

問6 次のA～Gの記述にあてはまる最も関係が深いものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

A. 繊維製品に表示した以下の表現のうち、医薬品医療機器等法に抵触する恐れのある表示

[語群]

1. エコノミー症候群を改善
2. マイナスイオン加工
3. 天然保湿成分の一つであるアミノ酸を加工

B. 製造物である繊維製品において、製造物責任法に抵触する恐れのある事例

[語群]

1. ゴム紐が長く、着脱の際、身体にぶつかり邪魔だと感じる。
2. ロングスカートの裾がドアに挟まれたので、強く引っ張ったら破れた。
3. バッグの底面の縫い目が破れたので、中に入れたものを紛失した。

C. 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律の特定芳香族アミンの規制における対象製品でないもの

[語群]

1. 繊維製品
2. ゴム製品
3. 革製品
4. 毛皮製品

D. 繊維製品品質表示規程の繊維組成表示の方法として正しくないもの

[語群]

1. 身頃が羊毛100%で、袖に牛革を使用したコートに、全体表示ではなく、「身頃 羊毛100% / 袖 牛革」と分離表示をした。
2. 羊毛98%のセータに「WOOL 100%」と表示した。
3. 希少な高級獣毛であるビキューナ100%の衣類に「ビキューナ100%」と表示した。

E. 繊維製品品質表示規程の繊維組成表示の表示対象品目に該当しないもの

[語群]

1. 布製おむつ
2. 帽子
3. ハンカチ
4. エプロン

F. 繊維製品関連で、資源の有効な利用の促進に関する法律に基づく容器包装の識別表示の表示義務がないもの

[語群]

1. 包装紙
2. 台紙
3. 無地のレジ袋

G. 2足セットの靴下を「お買い得」として表示して販売した。実際は単品で2足購入する際と合計金額が同額だった場合、不当表示として措置命令を受ける可能性のある根拠

[語群]

1. 有利誤認 2. 優良誤認 3. 二重価格

問7 次のA～Iの記述について、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークなさい。

- A. ①2000年以降について、総務省の家計調査で、洋服とシャツ・セーターを合計した支出は紳士服向けより婦人服向けの方が多い。
②2000年以降について、婦人洋服支出は、専業主婦の世帯より夫婦共働きの世帯の方が多い。
- B. ①オフプライスストアは、自社の売れ残り商品を低価格で販売する店舗のことである。
②ロードサイドショップは、都市郊外の幹線道路沿いに立地し、駐車スペースを広くとった専門店のことである。
- C. ①QR(クイックレスポンス)の基本的目標は、顧客満足度を向上させることである。
②QRは、プロダクトパイプライン全体の最適化である。
- D. ①海外の有名ブランド商品などを輸入総代理店以外の企業が別のルートから輸入する方式は、買付け方式といわれる。
②海外の生産企業、流通市場などを回ったり、来日企業の持参サンプルからセレクトし、輸入する方式は、並行輸入方式といわれる。
- E. ①企業と個人(一般消費者)の間で行う取引は、一般的にはC to Cという。
②フリマアプリとは、Web上にて一般消費者のユーザー間で売り買いの取引ができるアプリのことである。
- F. ①百貨店の消化取引制では、商品の店頭在庫の所有権は小売側にある。
②百貨店の派遣販売員制において、一般的にアパレル企業の人件費負担はない。
- G. ①小売企業が売れ残った商品を納入企業に返品し、別の商品と交換する方式を返品・商品交換制と呼ぶ。
②アパレル商品の流通について、世界的には完全買取制が一般的である。

- H. ①一つの企業が多店舗経営を行う小売業のことを、一般的にはチェーンストアという。
②本部企業が加盟店に対し、特定のブランドや商品・サービス、経営ノウハウなどを利用する権利を与える販売形態を、フランチャイズチェーンという。
- I. ①日本のアパレル産業では、1960年代から海外ブランドとのライセンス契約が本格的に始まった。
②ライセンス契約では、受権者側をライセンサーという。

問8 次のI～Xの記述の（ ）内に、最も適当なものを下記の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 総務省の「家計調査」において、衣・食・住にかかわる支出は（ A ）といわれている。
（1. 基礎的消費 2. 選択的消費 3. 特需的消費）
- II. 団塊ジュニアとは1971～1974年生まれの人々をいい、1990年代に（ B ）のけん引力になった。
（1. ジーンズブーム 2. ブランドブーム 3. トラッドブーム）
- III. 繊維ファッション業界のSCM(サプライチェーン・マネジメント)の全体最適を実現するため最重要課題は、（ C ）間でのサプライチェーン構築と位置づけられている。
（1. 繊維メーカーとシステム企業 2. アパレルメーカーと物流企業
3. テキスタイルメーカーとアパレルメーカー）
- IV. 2017年現在、世界の原料繊維生産量において、第1位の繊維は（ D ）である。
（1. 綿 2. ポリエステル 3. ナイロン）
- V. 人口を維持するためには、合計特殊出生率が2.07必要といわれており、合計特殊出生率とは、（ E ）で子供を産む数である。
（1. 夫婦が世帯 2. 既婚女性が生涯 3. 女性が生涯）
- VI. 日本のアパレル製品は、1960年代まで低価格のブラウス、シャツ、セータなどが、主に（ F ）向けに大量に輸出されていた。
（1. フランス 2. 中国 3. アメリカ）
- VII. Eコマースで購入した商品を近くの店舗で確認し受け取る仕組みは、（ G ）といわれる。
（1. マルチチャネル 2. オムニチャネル 3. シングルチャネル）

- VIII. アメリカなどでは、アパレル企業が取引する小売企業を限定しない（ H ）を採用している。
 （1. オープンマーケット制 2. テリトリー制 3. フランチャイズ制）
- IX. 主に発展途上国における加工において、関税の賦課が保留されている状態のことを（ I ）という。
 （1. 保税 2. 免税 3. 課税）
- X. アメリカでは、食品以外の日常必需品を幅広く扱っている業態を（ J ）という。
 （1. 品揃え型専門店 2. 百貨店 3. GMS）

問9 次のⅠ～Ⅱの記述の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 衣料輸入の増大の要因には、海外生産国の労働賃金の低さ、海外生産国の（ A ）、為替による（ B ）などがある。衣料の輸入浸透率で数量ベースより金額ベースの方が低いのは、輸入量の多い中国や東南アジアからの輸入衣料の平均価格が（ C ）ことが主因となっている。

[語群]

1. 情報量の高さ 2. 従業員の確保 3. 円安 4. 円高 5. 低い 6. 高い

- II. 流通の機能とは、「生産と（ D ）の間の社会的、地理的、（ E ）的な距離をなくし、生産と（ D ）を円滑につなぐこと」である。その機能の中でも、（ F ）を成立させるために行う営業活動のことを商取引流通という。

[語群]

1. 売買 2. 卸 3. 時間 4. 歴史 5. 物流 6. 消費

問10 次のⅠ～Ⅲの記述の（ ）内に、最も適当なものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- I. 衣料の汚れは、その性質から、水溶性汚れ、油性汚れ、（ A ）に分類される。

- （1. 固体粒子汚れ 2. 湿式汚れ 3. 固着性汚れ）

- II. 洗剤に主に使用されている酵素は（ B ）である。

- （1. オキシダーゼ 2. カタラーゼ 3. プロテアーゼ）

- III. 衣服の洗濯では、水（溶剤）、洗剤と（ C ）の3つが主たる要素である。

- （1. 機械力 2. 還元力 3. 酸化力）

- IV. 衣料用洗剤は、石けんと（ D ）に大別される。
 (1. 弱アルカリ性洗剤 2. 中性洗剤 3. 合成洗剤)
- V. 繊維製品の組成表示は、繊維の名称を（ E ）を用いて表示する。
 (1. 特定用語 2. 法定用語 3. 指定用語)
- VI. 繊維製品品質表示規程による表示事項には（ F ）がある。
 (1. 原産国 2. はっ水性 3. サイズ)
- VII. 日本のクリーニング店で現在一番使われているドライクリーニング溶剤は（ G ）である。
 (1. 石油系溶剤 2. テトラクロロエチレン（パークロロエチレン） 3. 代替フロン)
- VIII. 我が国が、大量の水資源を消費する農産物や繊維製品を輸入することによって間接的に消費していることになる水を（ H ）という。
 (1. 非消費水 2. 仮想水 3. 間接水)
- IX. 分散染料で染色した（ I ）は、酸化窒素ガスで変色しやすい。
 (1. ナイロン 2. アクリル 3. ポリエステル)

問11 次のA～Iの記述で、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①地球温暖化対策としてのカーボンフットプリントとは、炭素の足跡の意味である。
 ②ブルーサインスタンダードは、環境・健康・安全のすべての面において優れている製品を供給することを目的としている。
- B. ①靴下の原産国は、編立を行った国である。
 ②上衣等の原産国は、縫製を行った国である。
- C. ①  この記号のついている繊維製品のドライクリーニングはできない。
 ②  この記号のついている繊維製品は、脱水後につり干し乾燥がよい。
- D. ①上下で組になっている寝衣の取扱い表示記号は、上下どちらかだけについていても問題ない。
 ②はっ水性のあるシャツには、はっ水性の表示が必要である。
- E. ①ズボン及びスカートの裏生地の表示は、表生地全体の面積の5%以上あるものに限る。
 ②裏生地の組成を分離表示する場合、混用率の大きい繊維から順次列記する方法がある。

- F. ①我が国において繊維製品のリサイクルは、法律で義務付けられている。
②我が国のリサイクル法に食品は含まれていない。

G. ①  この記号のついている繊維製品は、酸素系漂白剤のみで漂白処理ができる。

②  この記号のついている繊維製品は、洗濯機の使用はできない。

- H. ①日本の温室効果ガスの総排出量は2014年度以降、5年連続で増加している。
②我が国が排出する温室効果ガスのうちCO₂の割合は、世界と比較して高い。

- I. ①JISで規定する衣料サイズは、すべて基本身体寸法である。
②JISで乳幼児用衣料の第一表示部位は体重である。

問12 次の文中のA～Gの記述にあてはまる最も適当なものを各々の語群から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。

- A. 背広服およびコート類やドレス類、上衣類のうちフィット性を必要とする服種のサイズ表示
(1. 体型区分表示 2. 範囲表示 3. 単数表示)
- B. 繊維製品のリサイクル手法で、古着などをぞうきんや工場の油拭き用布として利用する方法
(1. サーマルリカバリー 2. メカニカルリサイクル 3. ケミカルリサイクル)
- C. 繊維製品品質表示規程でレーヨンと表示できるもの
(1. プロミックス 2. ポリノジック 3. ポリ乳酸繊維)
- D. 綿繊維の一部を分解することで内部に侵入した皮脂汚れを除去する効果のある酵素
(1. リパーゼ 2. プロテアーゼ 3. セルラーゼ)
- E. 製繊維製品品質表示規程で取扱い表示が不要な繊維品
(1. ベッドスプレッド 2. マフラー・スカーフ 3. テーブル掛け)
- F. 羊毛・絹などのように、日光により黄色、褐色に変色しやすい繊維
(1. ナイロン 2. ポリエステル 3. レーヨン)
- G. 染色した衣料品の着用・使用の過程や、特に洗濯後の屋外での乾燥時に重要な染色堅ろう度
(1. 摩擦堅ろう度 2. 耐光堅ろう度 3. 汗堅ろう度)